

花いっぱい

学校教育目標 《子どもたちに、夢・笑顔・やる気・元気を！》



高野尾ふれあい運動会

10月24日(土)、子どもたちの願いが通じたのか、前日までの雨が嘘のように、絶好の天気恵まれて、令和2年度「たかのおふれあい運動会2020」が開かれました。コロナ感染防止対策のために、参加者・観覧者の方々には、受付で名簿記入・体温測定・手指消毒等をお願いいたしました。また、観覧席や入場門での召集等では、ソーシャルディスタンスをとっていただきました。これらのことに、本当にこころよく対応していただきありがとうございました。

運動会の全体としては、例年より、時間が短く、参加種目も少ない中、250名以上の方に参加・観覧いただきました。

児童・教職員等学校関係者約70人、児童家族約140人、地域の方約50人と例年よりは少ないですが、多くの方に集まっていただきました。津市の小学校で、土曜日に地域の方にも来ていただき、このような運動会ができたのは高野尾小学校だけではないかと思います。高野尾の地域のパワーをみせていただきました。

また、心配していた方も見えた昼食については、他の家族と十分間をとっていただいたり、校地を広く使っていたいただいたり、自宅に戻って食事をしていただいたりと各家庭それぞれの方法でとっていただきました。

た。3分の2程度の方が、保護者の方が作られた昼食を学校内でとられたようでした。特に、高学年の児童の家庭について、学校で昼食をとられた割合が高かったようです。(子どもたちの思い出にという意味もあったのでしょうか)



1年生にとっては最初の運動会、6年生にとっては最後の運動会でしたが、各学年とも準備体操・徒競走・親子競技・全体競技（玉入れと高野尾っ子リレー）・全体演技（安濃津よきこい）・整理体操と7種目に元気いっぱいの姿を見られることができました。地域競技も4種目あり、PTAの方々を中心に中学生・高校生・一般の方に参加していただきました。午後の最初には、新入児旗とりがあり、幼稚園・保育園年長の10人の子どもたちを地域のみなさんに見ていただきました。



また、高学年は、係の仕事もあり、忙しく過ぎましたが、家族・地域の方々に見ていただいたこともあり、全校生にとって思い出に残る運動会になったのではないかと感じています。来年度は、今年度のふれあい運動会の良さを生かしながら、よりよいふれあい運動会になればと思っています。



本年度のふれあい運動会に対して、ご理解・ご協力・ご支援いただきありがとうございました。

冬場に向けての高野尾小学校の感染症対策

冬場に向けて、コロナウイルスの第3波が、気になる季節となりました。コロナウイルスの特性も徐々に理解されてきております。特に、飛沫感染について、予防が大切であるということが分かってきました。高野尾小学校では、日頃から、児童・教職員とも屋内では、基本的にはマスクを着用しております。



これまで、夏の熱中症対策もあり、登下校についてはマスクを外しても良いということにしております。しかしながら、コロナウイルスが活発化するであろう冬場に向けて、高野尾小学校の児童の良さである元気いっぱいの挨拶・仲良く談笑しながらの登下校は、感染リスクが高まるであろうと考えられます。学校では、11月から、登下校についても子どもたちに、高野尾小学校の良さを引き続き生かすために、友だちに自分の飛沫が飛びにくいようにマスクを着用するように勧めています。

ご理解・ご協力をお願いします。

「豊里中学校の学校だより」

高野尾小学校は、ご家庭や地域の方々の協力で集めたお菓子や食品の紙箱をリサイクルする「くるりんペーパー事業」を行っています。そのリサイクルで作られたトイレットペーパー(100個1箱を2回)をご寄付していただきました。

大切に使用させていただきます。

以前、学校だよりでお知らせしたように、4年生が中心に行っている「くるりんペーパー事業」で、高野尾小学校では、使いきれないトイレットペーパーの1部を一緒に集めてくれた高野尾小学校の卒業生のいる豊里中学校に贈りました。このことを豊里中学校の学校だよりに掲載していただきました。

